

	発行日	令和4年 6月30日(木)
	発行者	いわき立泉中学校第3学年 進路指導担当

## 仁愛高等学校オープンスクール 7/27(水) 8/18(木)



仁愛高校は、会津若松市にある学校で、昭和43年に開校し、第一看護課程（5年課程）で看護師、第二看護課程（3年課程）で准看護師を養成する高等学校です。また、看護師国家資格を目指す2年課程の第二専攻科を有しています。

生徒定員数（1学年）は第一看護課程40名、第二看護課程40名、第二専攻科40名です。

開校以来3000名以上の卒業生を輩出し、医療・福祉施設の第一線で活躍し、地域医療の充実に貢献しています。

9:00~ 9:15	受付
9:15~ 12:00	学校概要の説明・体験学習
12:00~	進路相談（希望者のみ）

会津地区の学校のため、いわき地区の中学生にはあまりなじみのない学校ですが、看護師を希望する生徒には夢を実現できる魅力的な学校の一つです。

もし、参加希望する場合は、進路担当菅野まで申し出てください。

校内申し出〆切日 7月8日(金)

## 福島県公立高校入試問題集の販売用封筒を配付しました。

第2号で案内した集金済の高校入試問題集と内容はほとんど変わりません。前回購入しなかったご家庭は購入をご検討ください。なお、集金済み高校入試問題集は先日届き、手渡しました。

### 「福島県公立高校入試問題集」(¥1,210)

- 【問題集の特徴】
- ・過去5年分の問題（リスニングテストCD付）が収録
  - ・一般書店でも扱っています。
  - ・B5サイズで少し厚めの冊子です。
  - ・年度別出題内容の簡易分析表が記載されています。



#### 【購入申込方法】

業者配布の封筒に必要事項を記入し、現金を入れて学級担任へ提出してください。その後、封筒ごと業者へ手渡す形で申し込みます。封筒はこの進路だよりと同時に配付してあります。

なお、見本は学年フロアに展示しておきますので参考にしてください。業者には7/8(金)を目安に封筒を手渡す予定です。申込を忘れても、書店で購入できますのでご安心ください。

## 問題集のチラシを配付しました。

「高校入試虎の巻」の案内チラシが届きましたので3年生全員に配付しました。見本は各学級に提示してあります。各書店でも購入できますが、若干割引いてあるようです。もし購入を希望される場合は、チラシ裏面の申込み書を切り取り、必要事項を記入の上、金額を添え学級担任まで申し込んでください。

この問題集は、過去の10年分の福島県公立高校入試問題を分野別に整理してあるので、活用によっては苦手分野対応に役立つようです。



学校集約〆切と申込予定日:7月15日(金)

## 学法石川高校 部活動練習会

学校法人石川高等学校から、以下の部活動の6、7、8月分の練習会案内が学校に届きました。関心のある生徒、保護者様は進路担当まで申し出てください。

サッカー	女子ハンドボール	ソフトテニス	柔道	吹奏楽	ソフトボール
陸上(長距離)	剣道	チャアリーディング	ゴルフ	自転車	空手道

## ～生徒の皆さんに考えてもらいたいこと～

以下の内容は過去に発行した進路だよりに掲載したものを一部再掲載したものです。今後の生活の参考にいただければありがたいです。

参考文献 三笠書房 王様文庫「タフに生きる言葉」吉岡秀人

### \* 時間の大切さを知るとは、「今しかできないこと」が何なのかを知ること

「時間は限りがあるので大切に使う」ということは十分承知だと思います。この認識はできれば年齢が若いうちに早く知っておいた方がよいことです。よく、様々な生き方といいますが、実は様々な生き方の選択はたくさんありますが、自分が決める生き方は1つしか選べません。だからこそ、後悔が少ない生き方をしたほうがよいです。そのためこの2つを心がけて欲しいです。

#### ① 今しかできないことは今やる。 ② 今すべきことは何なのかを意識する。

よく、「いつかやろう」と思うことがありますが、実はこの「いつか」はいつまで経ってもやってきません。生徒の皆さんも、後でやろうと思って結局できなかった経験はないですか？ だからこそ①②の意識が大切になってくるのではないのでしょうか。

**「いつか」はいつになっても来ない**

### \* ○歳の時には○歳の時しかできないことをする。

例えば、今15歳だったら、その15歳はたった1年しかありません。15歳の1年間の大切さ、15歳の良さというのは実は未来に進んでみないとわからないものです。今この文章を読んでいるあなたは今の今という素晴らしい時間を過ごしているのです。だからこそ、15歳の時には15歳の時しかできないことを熱心に取り組んでもらいたいのです。それは自分が決めたことでも、偶然に目の前に現れたことでも、勉強でも、部活動でも、友達関係でも何でもかまいません。それが、あのときあすればよかったという後悔の念を少しですが緩和してくれると思うのです。

**今の生活が未来をつくる**

### \* 細かい積み重ねがやがて成功体験につながる。

人の体験数を鉄砲の弾の数で例えた場合、数多く弾を撃てばそれだけ命中する確率が上がります。しかし、弾の数が減れば、当然命中する確率は減ります。

人は成功体験があると努力するようになります。部活動で上位大会に進んだ経験がある人はわかるとは思いますが、もっと上位に行きたいと思うようになり、熱心に練習するようになります。しかし、成功体験がないと努力も何もしなくなり、現状はあまり変わりません。

実は、成功体験をしている人とそうでない人は撃っている弾の数が圧倒的に違うのです。(逆に外している数も多い。)人生で何かを成し遂げられない人は撃っている弾の数が圧倒的に少ないのです。

よく、失敗したらどうしよう、と行って行動にブレーキがかかることがあります。失敗を恐れず、挑戦し続けることで弾が当たるようになり、少しずつ成功体験につながって行きます。

どんな小さなことでもかまいません。小さな体験を積み重ね、成功体験につなげてください。

**「アッパー1発で倒す」のではなく、「ジャブ100発で倒そう」**

### \* 普段からやっていない人はチャンスが来ても動けない。

「チャンスが来たらやろう」「タイミングが来たらやろう」という人がいます。しかし、普段からやっていない人は、チャンスが来ても動けません。

耳が痛い話ですが、普段から手を抜いている人はいざというときに動けないのです。普段から動ける人だけがチャンスの時に動けるといえることです。

ある医師の話ですが、普段から軽症の患者を一生懸命に診ている医師は、重症の患者が来てもいい治療ができるそうです。野球選手で、普段から素振りの練習をしていない選手が、試合のバッターボックスに入った時にいきなりいいスウィングができるわけがないのと同じですね。

普段の過ごし方、普段の仕事や学習に対する姿勢、普段の行動こそが、いい成果を生み出す原動力なのです。だからこそ「凡時徹底」なのです。

**「チャンスが来たらやろう」ではなく「チャンスを得るためにやろう」**